

新宿村LIVE 大道具備品リスト

2026/5/1

料金が空欄の備品はホール使用料に含まれておりますので、追加料金は発生いたしません。

種別	取扱	員数	サイズ	概要	料金
平台	黒平台	18	1800x900	釘打ち可(2寸まで/カマ78分まで)	
	黒平台 (ボルト孔あり)	18	カマ7120 ※本舞台に合わせたサイズ	斜め打ち/ビス禁止 ガムテ/強粘性テープ禁止	
	三角黒	2	3尺(910)×900	釘打ちガムテ禁止 2枚合わせ可	
箱馬	木目	60	480x330x180 ※本舞台に合わせたサイズ	釘打ちテープ可 数量変動あり	
舞台用ステップ	黒階段	4	幅900・2段	天端グレーパンチ貼り	
		2	幅600・2段	天端グレーパンチ貼り	
張出増設用 リノリウム	6尺用グレーリノリウム	1	1820×10783 (17cm程短めです)	リノのサイズ未満の張り出しには使用不可 Pカット、強弱両面テープNG リノテープ・養生テープのみOK	全種 1,100円/日
	3尺用グレーリノリウム	1	900×10500 (30cm程短めです)		
	3尺用グレーリノリウム	1	910×10700		
張出ケコミ幕		1	600×10700	細釘・鉋止め可能/リング穴付	
砂袋		6		7kg	
ローリングタワー		1	最大7.5m3.5段	天板耐荷重260kg/ブレーキ170kg	
脚立	大サイズ	1	10段+伸縮足付		
	中サイズ	2	7段×1、6段×1		
	小サイズ	2	3段×2		

- 平台・箱馬・階段等の道具は 随時破損し数量が減少します。最大数に近い数をご利用時は必ず確認して下さい
- 高度作業はヘルメット等を使用し適切な講習・資格を所持している人員が作業をして下さい。

新宿村LIVE 映像送出備品リスト

種別	機種	員数	概要	料金	
プロジェクター	EPSON / EBPU2010	1	明るさ:最大10,000lm 消費電力:最大559W ブースラックに常設	1~4日	¥66,000/日
				5~9日	¥33,000/日
				10日以上	¥22,000/日
映像スイッチャー	Roland / V-02HD MK2	1	2入力対応(HDMIのみ) 確認画面用ミニモニタ 別途付属	プロジェクターとセット	
映像ケーブル	HDMIオス-HDMIオス	1	1.5m		
		1	2.0m		
		1	3.0m		
プロジェクター持込料			大小大きさ問わず	1台につき¥1,980/日	

- 保有機材は 随時改訂更新しております。詳細実数はお問い合わせ下さい。
- 保有機材は 故障や破損の為に予告なく代替や変更 数量減少する場合があります。
変更の状態は通知いたしませんので 随時ご確認下さい。
- 保有機材は 故障修理等によりご利用できない場合がございます。
ご利用時の故障は予備代替機材が無い場合 当日に対応できない時もございます。予めご了承下さい。
- ご利用最終日に全ての機材や備品などは、必ず各セクションチーフが確認の上現状復帰をお願いいたします。

舞監・道具関連について

搬入出について

- ・搬入口の利用には事前に申請が必要です。制作と打ち合わせの上、「車両申請リスト」をご提出ください。
- ※いかなる事情においても22時以降の搬出作業を行うことはできません。時間内の完全撤収にご協力ください。
- ・搬入ルート各開口寸法は以下の通りとなっております。※その他必要な寸法は下見時に採寸ください。

①スタジオCENTRAL館エレベータ	W1500xD2500xH2100
②スタジオCENTRAL館A階段	W3200xH2800
③スタジオ-劇場連絡B2階通路白扉	W1100xH2100 ※最小開口

劇場正面階段からの手運びであれば11尺程の長物を搬入できるケースもございます。
ご検討の場合は必ず下見にお越しください。

舞台の使用について

- ・役者や乗り込みスタッフが舞台を使用する場合は安全管理の為に舞台監督が必ず立ち会って下さい。
- ・本舞台は釘打ち/強粘性テープの使用は出来ません。リノテープ、養生テープのみ使用可能です。
- ・利用可能と記載しているテープでも、テープ跡が残ってしまった際には清掃まで含めて現状復帰をお願いいたします。

舞台の張出増設について

- 当劇場では本舞台から最大9尺まで張出増設が可能です。
 - ・変形での張出も可能としておりますが、**座席最前の通路幅1.2m確保**にご協力をお願いします。
 - 張出増設用の専用足として1800×900の「日」の字型の木製ユニットを8台用意しています。(無料)
 - ・上に平台を乗せると舞台高の600になります。前張出3尺、6尺(木足縦置で相掛)にご利用可能です。
 - ・舞台下に保管しておりますので、当日設置方法も含めてご案内いたします。
- ※6尺より大きく張り出す場合は箱馬の併用が必要となります。

Horizont壁の保護について

- ・セットとの間は2寸以上空けて下さい。Horizontにはセットが接触しないようにして下さい。
- いかなる建込み時も**Horizontへの接触はできません。**

幕類について

- ・テープの貼り付け、安全ピン等は禁止です。目玉クリップで固定して下さい。
 - 蓄光テープも直接の貼り付けはおやめ下さい。
 - 幕を外す・移動するなどの場合は、**舞台図面に記載いただき、下記注意事項遵守をお願いいたします。**
 - ・幕の変更は現状の記録・確認から復帰までを全て利用者様にてご対応をお願いいたします。
 - ・緞帳の取り外しは禁止といたします。紐で縛ってたくし上げ/ギャラリー掛けといった対応は可能です。
 - ・その他幕は取り外し・たくし上げ・ギャラリー掛けが可能です。
 - ・緞帳や幕類がギャラリー床に接する場合は雑黒等で極力保護をお願いいたします。
 - ・使用後に破れ/カケ/ハギ等があった場合、事前に指摘が無い限り現状復帰の責務が発生します。
- ※後日未復帰が確認された場合、指定の日時の復帰作業または復帰の費用をご負担いただきます。

上手階段について

- ・舞台上手袖に可動式で移動バラン可能な常設備品 上手階段を設置しています。
- ・移動やバラン撤去をする場合は、組み立て方法を確認しながら行って下さい。(4人で約15分)
- ・バラン撤去等で発生した不具合は主催者の責任でご対応をお願いいたします。

客席内の道具類の設置について

- ・客席内に道具等を設置する場合は1週間前までに提出の舞台図面に記載し、小屋側の承諾を事前に得てください。

紙ふぶき・雪布の使用について

- ・細かいラメの使用は禁止です。※一度カーペットに付着すると除去が困難なため
- ・使用後の清掃を徹底して下さい。最終退館時に必ず清掃を行い、劇場スタッフ立会いのもと確認を行ってください。
- ※特に緞帳と大黒幕のレールに付着してしまうケースが多くなっており、十分にご注意ください。
- ※後日未復帰が確認された場合、指定の日時の復帰作業または復帰の費用をご負担いただきます。

バトンの昇降について<<厳重注意事項>>

- ・当劇場の昇降ボタンは全て手動ウインチです。
- ・バトンの昇降は劇場スタッフが行います。昇降が必要な際はお声がけください。
原則仕込み時とバラシ時のみとしておりますので、公演期間中の昇降が発生しないようご計画ください。
- ・ボタン昇降中、ウインチ操作者はウインチの目視義務がございますため、安全確認、ボタン端のケーブルの干渉がないかの確認は、
舞台監督や各セクションチーフが必ず徹底して注視いただきますようお願いいたします。
- ・演出上の理由でボタン昇降を行うことは出来ませんのでご了承ください。
※ボタンをケーブル類・ロープなどで固定された状態で昇降をした場合、ワイヤーが滑車やガイドから外れ破損します。
このような場合、即時作業中止とし、点検修理費用+その他の損害費用をご負担して頂きます。
(過去の事例で5万円以上点検修理費をご負担頂く事態が発生しています。)

木作業に関して

- ・仕込み日とバラシ日のみ、なぐり、のこぎり、電動ドリル、インパクトの簡単な工具の使用は可能です。
- ・グラインダー、丸のこ、ジグソー、コンプレッサー等全ての電動工具は一切使用できません。
- ・建込み台組以外の木作業をする場合は必ず劇場スタッフに確認の上、指定された作業位置で行って下さい。

塗装作業に関して<<厳重注意事項>>

- ・劇場内での塗装作業は禁止としております。
- ・舞台美術以外の小道具/衣裳などの作業でも塗装を行わないよう十分に指導監督をお願いいたします。
- ・無断での塗装作業が発覚した場合、即刻利用中断の上、基本復帰のための費用を負担いただきます。

高所作業について

- ・脚立等を使用して高所作業を行う場合（舞台美術、ボタン作業等）は必ずヘルメット(および安全帯)を着用して下さい。
- ・高所作業の備品は脚立、2段アップスライダ(照明SUS作業用)、ローリングタワーがあります。

ホールに入る扉(上手観音扉・舞台裏-廊下扉・A入場口・B入場口・楽屋扉・舞台管理室扉の6箇所)について

- ・音出し/スモーク使用はこの扉を必ず閉じてから開始してください。※スタジオへの音漏れ、煙感知器の作動対策
- ・上手下手の舞台-舞台裏通路を繋ぐ扉を動線の都合上閉じられない場合、暗幕を使用してスモークが舞台裏に到達しないように対応をお願いいたします。
- ※上記対応を守っても音漏れ/煙感知器が作動した場合はフェーダーの調整をお願いいたします。

舞台裏のテレビモニターと音声モニターについて

- ・舞台裏テレビモニターからは音声が出ない仕様となっております。
- ・音声モニターとして別途常設スピーカーを設けておりますので、ご利用の際は音響担当者にご確認ください。

非常灯の消灯について

- ・非常灯を消灯する場合は、必ずその旨を開演前にアナウンスした後に消灯して下さい。
参考「本公演は演出の都合により非常灯を消灯致します。非常時は係員が安全に誘導致します。」
- ・操作盤はブースにございますので、各セクションとご相談の上操作をお願いいたします。
- ※必ず終演後には即座に点灯するようにご手配ください。

映像関連について

※映像の送出収録の担当者がいない場合は舞台監督が以下の内容を順守して下さい。

映像送出をする場合

- ・事前にプロジェクターの配置図やその仕様の内容を申告ください。
- ・単独の機器で 1000W 以上必要な場合は不滅からの利用はできません。
必ず映像用電源（ブース壁面）をご使用ください。
- ・点灯してレンズをマスクするとレンズが解けて破損する恐れがありますので注意して下さい。
- ・**劇場プロジェクターはブースに常設となっております。ラックの移動はNGとしておりますのでご了承ください。**
- ・当劇場には映像スタッフが常駐しておりません。設営に関しては補助程度となりますので、
担当者にてご対応をお願いいたします。